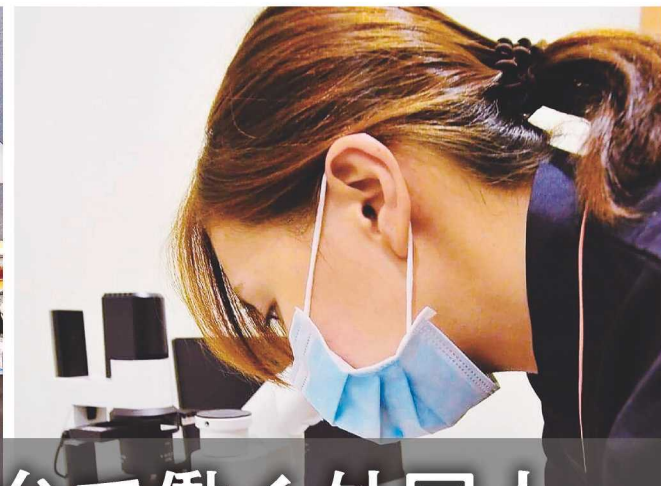


SENDAI Lifestyle



特集 仙台で働く外国人



インタビュー “私のまち仙台”でチャレンジする
働く外国人座談会

多文化SENDAI 宮城アフリカ協会

外国につながる子どもたち 仙台市立国見小学校 (その2)

コラム 仙台ではたらく / 子育て in せんだい / 日本語学校の窓から

C I R 通信 こんな業務を担当しています！

SenTIA
Sendai Tourism, Convention and
International Association

(公財) 仙台観光国際協会 (SenTIA) 国際化
事業部は、言葉や習慣の異なる外国人住民や
外国にルーツを持つ人々と暮らす「多文化
共生」のまちづくりのため、さまざまな事業
を行っています。

WEBサイト



Twitter



Facebook





特集 仙台で働く外国人

日本の少子高齢化による労働人口の減少で、国内産業は深刻な人手不足に陥っています。このような状況を踏まえ、2019年4月より外国人材を積極的に受け入れるための新たな在留資格が創設され、今後も外国人就労者がさらに増加することが見込まれます。今回は、仙台で働く外国人の状況についてお伝えします。

**全国で増加する
外国人就労者**

日本に住む外国人は、過去30年間で約3倍に増加し、現在は約282万人、総人口の約2.2%となっています。日本で働く外国人も増加し、令和2年度には172万人と過去最高を記録しました。(図1)外国人労働者数・雇用事務所数共に、毎年最高記録を更新し続けています。

2019年には、中小企業をはじめとした深刻化する人手不足に対応するため、新たな在留資格「特定技能」が創設されました。これにより、単純労働分野と言われる職種にも外国人の就労機会が広がりました。今後コロナ禍が収束に向かえば、外国人労働者のニーズはますます高まると考えられます。それと同時に、外国人が日本で安心して就労・定着できるよう、彼らが安全に生活していくための環境整備が求められています。

**※1
仙台の外国人労働者**

近年、コンビニや飲食店で外国人が働いているのをよく見かけるようになった方も多いのではないのでしょうか。仙台も例

にもれず、外国人労働者数及び雇用事務所数は、届出が義務化されてから、過去最高を更新しました。県内外国人労働者1万3千979人を国籍別で見ると、ベトナムが一番多く、次に中国、ネパールが続いています。そのうち、実に約7割にあたる9千604人が仙台に集中しています。在留資格別では、留学生など「資格外活動」の就労が最も多く、次に専門的・技術的分野の在留資格による就労となっています。(図2)

産業別では、コンビニなどの卸売業・小売業で働く外国人が一番多く、二番目に多い製造業、例えばカット野菜などを作る食品工場などでも、多くの留学生等がアルバイトとして働いています。その他、レストランなどの飲食サービス業や、ホテルなどの宿泊業に従事している人も多く、外国人が幅広い業種で働いていることがわかります。人手不足が深刻化する地域経済で、外国人は重要な働き手になっていると言えるでしょう。

※1 仙台市公共職業安定所(管轄区域：仙台市、名取市、岩沼市、亶理町、山元町)管内の外国人労働者。

※2 本来の在留目的である活動以外に就労活動を行うもの(原則週28時間以内)。留学生のアルバイト等が該当する。

図1 外国人労働者の出身国別・推移
(令和2年10月末現在)

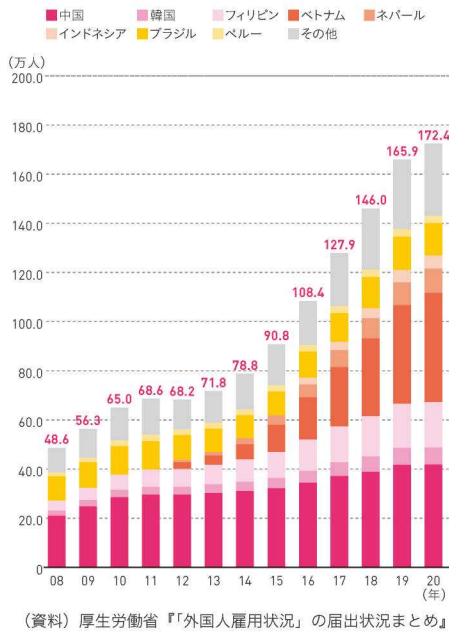
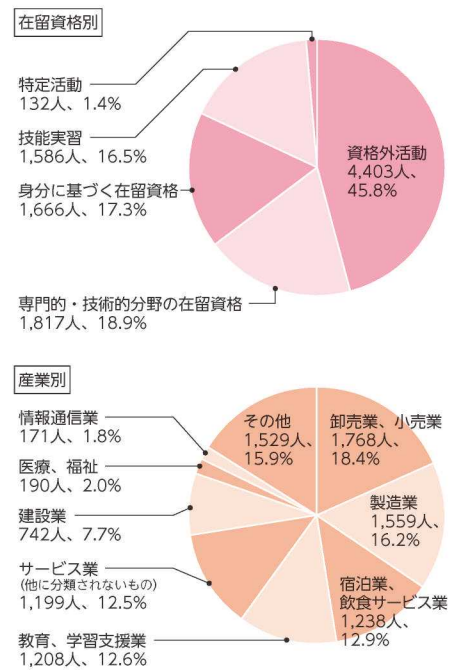


図2 在留資格・産業別の外国人労働者数・割合*
(令和2年10月末現在)



外国人雇用のための支援

現在、外国人の雇用促進に向けて、様々な外国人向け支援や事業主向け支援が行われています。東北大学をはじめ、仙台の大学で学んでいる外国人留学生向けには、地元定着を促進するプログラムが実施され、インターンシップ、企業説明会等も実施されています。事業主向けには、外国人材のマッチング支援や採用セミナー等が開催され、外国人の雇用管理に関する支援も行われています。また、ハローワークや労働局においても多言語相談窓口が設けられています。それらの窓口では、通訳者・外国人雇用専門官の配置や多言語での電話相談等の実施により、外国人のための相談体制が整えられてきています。

SenTIAが運営する仙台多文化共生センターでも、弁護士などの専門家、労働局などの専門機関と連携し、外国人のための専門相談会を定期的に実施しています。相談会では、雇用契約での問題など、労働分野における相談にも応じています。(裏表紙参照)

就労支援のための日本語教育

最近では、就労支援を目的とした日本語講座も開講されるようになりました。ある講座では、職場での会話や読み書きといったコミュニケーション、キャリアプランニング、就職活動について学ぶほか、実際に外国人が働いている職場の訪問も行います。また、他の講座では、介護の仕

事で役に立つ日本語や日本文化を学ぶと共に、国家試験合格を目指した専門用語や試験対策のための学習を行うなど、介護の仕事に特化した日本語を学べるよう外国人を支援しています。SenTIAのウェブサイトでは、これらの日本語講座を含む様々な日本語学習情報を紹介しています。

多様な人材が活躍できる社会へ

外国人を雇用する企業からは、雇用管理の煩雑さのほかに、コミュニケーションや文化の壁に苦労したという経験を聞くことがあります。また、外国人就労者からは、日本人の曖昧さや、言葉の裏の本心を理解するのが難しかったという話も聞かれます。互いに

文化や生活習慣の違いに戸惑うことがあっても、ただ外国人を日本の文化・習慣の枠にはめようとするのではなく、日本人も相手の文化・習慣を知り理解を深めることで、同じ職場の仲間としてより良い関係性を築くことができるでしょう。また、外国人を雇用することによって、彼らの日本人とは別の視点で物事を見るスキルが生かされ、これまでも違う仕事のアイデアが生まれたり、一緒に働く人への良い刺激になったりと職場が活性化するメリットも期待できます。多様な人材が活躍できる地域社会を目指すためには、互いの文化的違いを認め合い、それぞれの個性を発揮できる職場環境づくりが重要な鍵となります。

SenTIA 生活のためのオリエンテーション出前講座

SenTIAでは、外国人市民が自国と日本のルールやマナー等の違いを知り、安心・快適に暮らすための情報を提供しています。企業や学校等の外国人受入れ機関からの依頼に応じ、通訳を付けた出前講座を無料で実施しています。まずはご相談ください。

SenTIA生活のためのオリエンテーション出前講座チラシ▶



SenTIA ウェブページ「日本語を学ぶ」

SenTIAウェブサイトでは、仙台市内の日本語講座や日本語個人指導ボランティア紹介プログラム、オンライン学習教材など、日本語を学ぶための様々な情報を掲載しています。最新の日本語学習情報は随時ブログでご紹介しています。

SenTIA ウェブページ「日本語を学ぶ」▶



私のまち仙台でチャレンジする

働く外国人座談会

日本で働く外国人が増えています。就業当初は言葉や文化・習慣の違いに戸惑いながらも、それぞれの分野で経験を積み重ね、活躍しています。今回は仙台で働く3名の方に、就労に至った経緯や働いてみての感想について聞きました。

―仙台で働くことになった経緯を教えてください。

ピノド 留学しようとしたとき父親が安全だからと日本を勧めてくれ、ネパールの学校が仙台を選んでくれました。仙台へ来てみて、親の言うことが分りました。母国では夜遅くに歩くことはできませんが、仙台はその点安心です。留学中、お弁当を作る工場です。アルバイトを始め、その会社で社員に登用され、外国人スタッフの管理業務を行いました。今は人材派遣会社で同じ業務をしています。私は仙台がすごく好きに

なり、転勤も多いのですが、仙台から離れたくないと会社にもお願いしています。

ナオミ 私の兄の妻が日本人で、ケニアに住んでいました。義理の姉に日本のマナーや文化を教えてもらい、日本に行きたいと思っていました。義理の姉の友だちが仙台に住んでおり、ケニアに遊びに来た際に、誘われて仙台に来ました。最初は日本語学校に入りましたが、半年間ホームステイをしました。アルバイトをしながら学校に通うことは大変でしたが、ずっと日本にいたいと思うようになりました。専門学校でホテルマネージメントを勉強した後、ホテルに入社し、12年働いています。

アルベア フィリピンで看護師として働いていましたが、兄の勧めで日本に来ました。EPAというプログラムで、石巻の病院で働くことになりました。

た。昨年仙台で働いたのは、さらにスキルアップを目指そうと思ったからです。また、石巻では住むところも全て準備されていて、働きながら勉強をしているのですが、自分の力で日本の生活をしたいと思うようになりました。自分で初めてアパート探しと引越しまし、仙台の病院で働き始めました。

※経済連携協定。貿易の自由化に加え、投資、人の移動、知的財産の保護や競争政策におけるルール作り、様々な分野での協力の要素等を含む、幅広い経済関係の強化を目的とする協定。

―日本で働いて良かったこと、大変だったことを教えてください。

ピノド 初めは本当に大変でした。レストランでアルバイトをしたのですが、日本語が分からず、周りの人に怒られてばかりでした。日本語学校からアドバイスを受けて、日本語の勉強を頑張りました。日本語が分かるようになりますと、仕事がいやしくなりました。社員になってからは責任も重くなり、休みたいたときに

休むことが難しくなりましたが、特に問題はありませんでした。

ナオミ 日本語を覚えるのが大変でしたが、お客様の顔と名前を覚えることもとても大変でした。ホテルの顔としての責任もあるのですが、非常に気も使いますね。日本語では、特に敬語を覚えることが大変でした。日本のすごいところは、おもてなしとマナーです。今、それを学んでいるのがすごく嬉しいです。ケニアのホテルに泊まると、日本の丁寧なサービスとつい比べてしまいがちです。仕事はとても楽しいです。

アルベア やはり言葉の壁ですね。日本語が分かるようになって、方言が理解できないこともありました。また採血のとき患者さんから不安がられることもありましたが、しかし、経験があることを説明し、時には冗談を言ったりしてコミュニケーションを取りながら対応しました。そのうち、患者さんたちは日本人と区別なく、私から採血や注射を受けてくれるようになりました。

―何か日本人の同僚との印象的なエピソードはありますか。

アルベア 遅刻したときのこと忘れられません。時間ちょうどぐらいに着いたのですが、1分でも遅刻と言われたときは驚きました。プライベートな遅刻の理由も書類に書かなければなりませんでした。今では余裕を持って職場に着くようにしています。日本人は早めに職場に着いて、用意をしたり、心の準備をしたりするのだからというのが分かってきました。

―お互いに仕事がいやしくなるためには、どうすればいいでしょうか。

ピノド 職場では、日本人も外国人も同じルールで働けるようにしてほしいですね。残念ながらそうならない職場もあるのですが、一緒に働く仲間なので、ルールは同じように適用してほしいと思います。**ナオミ** 様々な文化への理解が進めば良いと思います。お客様と一緒に働く人たちがどういう国に住んでいるか、その国がどのような文化なのか、関心を深めることでより良いサービスや職場環境につながると思います。

アルベア 外国人という見方で判断しないようにしてほしいですね。医師や看護師などの医療従事者であれば、外国人でも皆技術や経験を持っているのです。医療以外でもそれは同じで、レストランやお店でも、頑張っているスタッフに日本人・外国人の区別はないと思います。



アルベア・フェル・リベラ・ドゥエートさん

フィリピン出身。来日7年目の看護師。日比EPA*候補者として来日後、石巻市の病院に勤務しながら資格試験に合格。昨年度、仙台市内の病院でも勤務し、様々な医療現場で経験を積む。趣味は映画鑑賞。



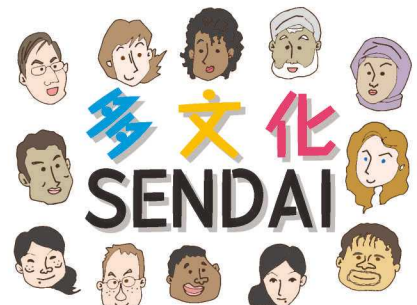
チャンド・ピノドさん

ネパール出身。来日10年目の会社員。市内の日本語学校と専門学校を卒業後、アルバイトをしていた市内の企業に就職。現在は転職し、人材派遣会社の仙台支店で外国人材の紹介や管理業務に携わる。趣味は旅行。



ナオミ・マイナさん

ケニア出身。来日20年目の会社員。市内の日本語学校を卒業後、専門学校でホテルマネージメントを学ぶ。市内のホテルに12年勤務し、通訳・受付・ラウンジなど広く接客業務に従事する。趣味はダンス。



仙台で活動する外国人コミュニティや
多文化共生・国際交流団体を紹介します

宮城アフリカ協会 あふあむ (AFAM)



現在67名のメンバーで活動中。主に東北
大学や秋田、山形、福島各大学院で学ぶ
研究生が所属している。

目指しています。

2002年から東北大学の留学生を
中心に活動を始めた宮城アフリカ協会
(AFAM)は、東北在住のアフリカ出
身者達の親睦を深め、自分たちの多様
な文化や価値観を地域の人々と共有す
るため、年間を通して様々なイベン
トやセミナーを開催しています。

近年は留学生のキャリア支援にも取
り組み、大学や在日大使館とも連携し
て、留学生と企業を繋げる働きかけを
行っています。また、卒業生の体験談
発表をオンラインで実施し、大学卒業
後に帰国した先輩方や日本で働く先輩
方から話を聞き、留学生が自分のキャ
リアデザインについて考える場を提供
しています。コロナ禍等の影響を受け
就職や将来の進路選択に悩む留学生が
増えている中、留学生がインターンと
して地元企業で働く機会を増やし、県
外の留学生も支援できる体制づくりも

AFAM主な活動内容

- 留学生のキャリア支援のほか、
次のような事業も行っています。
- オンライン料理教室やバーチャル
ツアーの開催
 - 高齢者施設の訪問、歌やダンス
等を通じた利用者との交流
 - 地元企業や大使館と協力した
セミナー・シンポジウムの開催
 - 自治体や大学等が開催する
イベントへの協力・参加
 - 日本に入学したばかりの留
学生の生活サポート 等

団体の活動について、詳しくはウェ
ブサイトをご覧ください。
<https://afam-org.com/ja/home/>

会長のアイザックさんは、「アフリカ
人交流組織として地域社会へ貢献して
いくため、今後は日本の若い世代のア
フリカ文化に対する理解促進や、母国
の子供達に教育の機会を与える環境づ
くりにも取り組んでいきたい」と話し
てくれました。

外国につながる 子どもたち



多様な子どもたちが学ぶ学校の様子を
現場の先生に伝えてもらいます

国見小学校 国際教室 (その2)

よこやま ひろか
横山 広佳 教諭

仙台市立国見小学校勤
務4年目、昨年から国際
教室担当。趣味はアイド
ルの応援、アイドルのダ
ンス、Netflixを観ること。

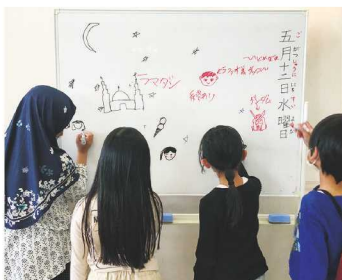


国際教室では、外国籍児童が新しい
環境で学習でき、日本の友達とコミュニ
ケーションを取れるよう日本語指導を
行っています。本校には外国籍児童が
10か国16人、外国ルーツの児童が12か
国20人おり、個性あふれる児童がたく
さんいます。日本語をどんどん使いた
がる子、恥ずかしくて話せない子など
様々で言語や文化だけでなくその子の
性格に合わせた指導を心掛けています。
日本に来たばかりの子には、まず簡

単な日本語や英語を使って、好きなも
のを話題にしたコミュニケーションを取
るようにしています。日本のアニメや日
本食が好きな児童は多く、先生との共
通点が見つかるのと心の距離が近づいた
感じがして、互いにほっとした気分にな
ります。やがて国際教室の友達やクラ
スの友達などに関わろうとします。分
かる日本語で話そうとする姿に、成長
を感じて嬉しくなります。国際教室が
日本での居場所になり、次の居場所へつ
なく架け橋になればと思っています。

外国人児童と 家族のための 小学校入学準備講座

小学校に入学を予定している
外国人の子どもと保護者のため
の、入学準備についての講座です。
SenTIAが毎年2～3月に開催して
います。日本の小学校の様子、ルー
ル、家庭での学習などについて分
かりやすく説明します。



ラマダン明けの日、皆で好きなもの
を描きました。絵は大切なコミュニ
ケーションツールです。



コミュニナの齋藤高晴社長は「外国人だから雇っているわけではない。会社に必要なスキルを持っている人を採用しようと思ったら結果的に外国人だった」と話してくれました。

せんだい多文化まちづくりチャンネル

インタビューの動画は「せんだい多文化まちづくりチャンネル」で見ることができます。



2017年東北大学に留学しました。一度帰国したのですが、2019年に就職のため仙台に戻ってきました。留学期間を合わせて、仙台に3年ぐらい暮らしています。現在、会社では日本語と英語から中国語への翻訳のほか、観光ウェブサイトの管理を担当しています。小さいころから日本が大好きで、いつか日本へ行きたいと思っていました。日本で働くメリットは、大好きな日本の文化が身近にあることです。取材などで「外国人からの視点」を求められることもあり、いろいろな場所へ行き、いろいろな体験ができることも外国人として働く良いところだと思います。ただ、コロナ禍のせいで台湾にすぐに帰れないことだけは、海外で働くデメリットですね。多文化共生のためには、情報発信がとても大事です。外国と日本の文化を発信して、分かりあえるプラットフォームを作っていきたいと思っています。

仙台ではたらく



王友安(ワン ヨーアン)さん/台湾出身。東北大学への留学後、一旦帰国。再来日し、株式会社コミュニナ(仙台市)に就職。広瀬川沿いの散歩が趣味。



息子さんとショッピング

2018年10月に夫が東北大学の留学生として来日し、その半年後に息子と共に来日しました。当時息子は中学1年生で、最初は日本語がまったくわかりませんでした。イランではペルシャ語を話すので、英語はほとんど話せません。最初の半年は友達もできずイランに帰りたいと口にしていました。私はそんな息子に、「最初はだれにとっても日本語は難しいもの。焦らなくても大丈夫」と励ました。本人も頑張りましたが、学校の先生方や授業に付き添ってくれるボランティアのみなさんのおかげで、少しずつ日本語がわかるようになりました。次第に友達もでき、今ではすっかり日本の生活を気に入っていて、イランに帰りたくないとさえ言っています。現在息子は中学校3年生で受験生です。出願手続きなど日本語が難しく大変ですが、先生方に手伝ってもらいながら息子と協力して進めています。仕事のことなど不安なこともありませんが、息子の進学も決まりそうなのでこれからが楽しみです。

子育てせんだい



サマネ ノアバディさん/イラン出身。来仙3年目。夫と息子の3人暮らし。現在、日本語講座を受講中。漢字が大好き。将来の夢は仙台で起業してレストランを開くこと。

日本語学校の窓から

Vol.4



遠藤和彦(えんどうかずひこ)さん/米沢市生まれ。東北大学で日本語教育学を学ぶ。仙台国際日本語学校教務主任。趣味は小説を書くこと。好きなものは漫画、焼鳥、産直。

彼女の熱心さには舌を巻いた。「こんなに勉強したのは学生以来!」と少女のように目を輝かせた。その瞳には遠い異国の希望の光が灯っていた。



2021年12月の日本語能力試験N1に見事合格したスーザさん

日本語を学ぶ理由は人それぞれだ。仙台の旅行会社で働くスーザさんは、母国ミャンマーへの慰霊巡拝をはじめ、欧米視察の添乗員など日本と世界の架け橋となる仕事を続けて三十年になる。その間、協力を募り、ミャンマーに小学校をいくつも建てた。国民的作家である父親の小説を日本語に翻訳して出版した。母国で災害が起きたと聞けば、募金活動を始めた。その傍ら女手一つで娘を育て上げた。しかし、一昨年、実母が他界。さらに母国でのクイーター……コロナ禍で身動きが取れない上、仕事も激減した。それでも歩みを止めなかった。この後の未来のために何ができるか。「日本語をブラッシュアップしたい!」と彼女は当校の日本語能力試験対策コースに申し込んできた。実は漢字と長文が苦手だった。

CIR通信 Vol.2 こんな業務を担当しています！

仙台市国際交流員（CIR）がSenTIAで携わっている多文化共生事業について紹介します。

今回は
タイラーから
紹介します！

CIR タイラー

アメリカ・フロリダ出身。
来日4年目。
登山やトレッキング好き。



CIR ペイジ

ニュージーランド出身。
在仙5年目。日本滞在は7年目。
お菓子作りとサイクリングが好き。



※国際交流員（CIR：Coordinator for International Relations）
JETプログラム（政府の外国青年招致事業）で来日し、自治体の国際交流担当部局等で国際交流や多文化共生事業に携わっています。
仙台市には現在、2名のCIRがいます。

CIRとして勤務してきた3年間で、SenTIAで幅広い業務に携わる機会がありました。今回は毎月FMラジオで放送されている番組「多言語放送局：ようこそさんだい！」と、仙台多文化共生センターに寄せられる外国人の相談対応について紹介したいと思います。

多言語放送局では、季節の話題や、生活情報、SenTIAからのお知らせなどについて月に1回15分間で放送しています。日頃からラジオで外国語を放送することで、災害時などにラジオが大切な情報源になることを知ってもらうためです。ラジオ収録について、最初はこのようなコミュニケーション能力が必要な仕事ができるかどうか不安でした。内気な私ですが、経験豊富な先輩と一緒に経験を積み、スムーズに収録進行できるようになりました。私自身もラジオ番組を通して、生活・仙台的行事・災害といった外国人にとって役立つ情報を学び、トーク能力も磨かれました。これからも、この学びやトーク能力を駆使して、外国人に分かりやすい情報を発信していきたいと思います。

次に相談対応についてです。SenTIAで運営する仙台多文化共生センターでは、外国人住民の生活などに関するさまざまな相談に多言語で対応しています。ラジオ収録は事前に準備が可能ですが、相談対応ではそうはいかず、臨機応変に対応しなければなりません。効率的に対応するには、まずは相談者から情報を聞き出し、その状況を正確に把握

することが大事です。自分の知識だけですぐに対応できないときは、他の職員と相談し、チームとして対応策を考えることもよくあります。日本語が話せる私でも、一人では生活の問題を解決できない場合もあります。同じ日本で生活をしている外国人として、その心細い気持ちはよくわかります。仕事や生活の面で私を支えてきてくれた人がたくさんいますので、私も少しでも外国人住民の力になれるように、これからも仕事に取り組んでいきたいと思っています。



ラジオ収録の様子

多言語放送局はSenTIAウェブサイトでも聴くことができます。

<https://int.sentia-sendai.jp/radio/>



SenTIA サポーター（国際化事業部 賛助会員）募集中！

言葉や文化の違いをこえて、誰もが生き生きと暮らせる「多文化共生の地域づくり」に向けて、皆様からの支援をお待ちしています。事業にご賛同いただける方は、どなたでもお申し込みいただけます！

会員の種類/会費（年度ごと）

学 生	1口 500円	個 人	1口 1,000円
市民団体	1口 2,000円	法 人	1口 5,000円

賛助会費は、SenTIAの外国人支援事業に使わせていただきます。

法人会員のご紹介

●（公財）宮城県国際化協会

国籍、民族等の違いにかかわらず、県民の人権が尊重され、県民が等しく社会参加を図ることができる豊かで活力ある地域社会を実現するため、多文化共生と県民主体の国際交流・協力活動を促進する様々な事業を行っています。

2021年度 新規登録の 市民団体会員 のご紹介

- チリ支援友の会
- RAN日本語教室
- ライフ・アテンド みやぎ

申込方法等については、ウェブサイトをご覧ください。市民団体・法人会員のサポーターも紹介しています。

<https://int.sentia-sendai.jp/j/activity/supporter.html>



仙台多文化共生センター をご利用ください

TEL 022-224-1919



仙台多文化共生センターでは、仙台に暮らす外国人住民の相談に多言語で対応しています。地域や学校、公的機関等からの各種相談にも応じています。お気軽にご利用ください。



通訳サポート電話 TEL 022-224-1919

3者間通話ができる電話を使って外国人住民への生活情報の提供と、通訳によるコミュニケーションのお手伝いをします。区役所・市民センター・保育所・学校などで、外国人住民とのコミュニケーションでお困りの際にご利用ください。(商用利用はできません)

対応言語 英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語、タガログ語、タイ語、ポルトガル語、スペイン語、ロシア語、インドネシア語、イタリア語、フランス語、ドイツ語、マレー語、クメール語、ミャンマー語、モンゴル語、シンハラ語

外国語による相談対応

外国人住民の日常生活での困りごと、悩みごとに、外国語で対応します。スタッフが英語・中国語で対応します。その他の言語については「通訳サポート電話」で対応することがあります。中国語・韓国語・ベトナム語・ネパール語は、相談員がそれぞれ週に1〜2回、仙台多文化共生センターで直接相談に応じます。

外国人のための専門相談会

在留資格、法律、仕事で困っていること、行政手続き、税金などについて、専門家に相談できます。事前申込が必要です。通訳も無料で申し込めます。詳しくはお問い合わせください。

2022年4月以降の予定 時間はすべて1:00 p.m. - 4:00 p.m.

※開催日が変更になることがあるので、ウェブサイト(右側のQRコード)を確認してください



仙台出入国在留管理局	仙台弁護士会	宮城県行政書士会	宮城労働局	東北税理士会
毎月第4金曜	毎月第2金曜	毎月第1土曜	奇数月の第3木曜	次回予定は ウェブサイトでご確認ください。

〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地 仙台国際センター 会議棟1階
 毎日9:00 a.m. ~ 5:00 p.m. (月に1〜2日程度の休館日を除く)
 TEL: 022-265-2471
 FAX: 022-265-2472
 E-mail: tabunka@sentia-sendai.jp

仙台多文化共生センターは、仙台市の委託を受け、
 (公財) 仙台観光国際協会 (SenTIA) が運営しています。

